

# 京都文教大学

KYOTO BUNKYO UNIVERSITY

## 教育後援会

2023

Newsletter

No.2



京都文教大学  
ホームページ



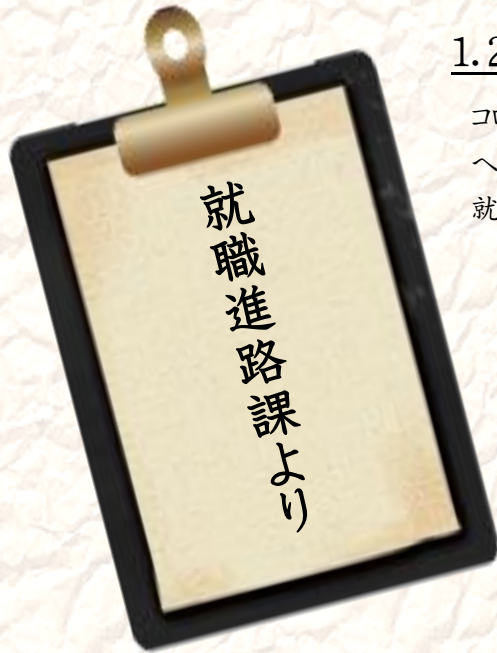
## INDEX

就職進路課より／学生課より／図書館だより／フィールドリサーチオフィスより／事務局お問い合わせ先一覧／  
教務課より／京都文教大学 INFORMATION

### ●表紙写真／

9月に「還愚(げんぐ)セミナー」を「和歌山県高野山での遍路と阿字観体験(1泊2日)」を実施しました。還愚とは、仏教用語で「自分のおろかさ・限界を自覚する」という意味があります。2日間の歩き遍路を通して、自分の無知・弱さを改めて自覚し、自己の学生生活を考えるキッカケとなることを目的としています。日常生活の中では、感じることのできない感覚や経験を積み、生きる力を習得してもらう機会となりました。

編集・発行 京都文教大学教育後援会事務局(総務課内) 〒611-0041 京都府宇治市槇島町千足 80  
教育後援会ホームページ : <https://www.kbu.ac.jp/kbu/koenkai/index.html>



## 1. 2023 年度 卒業生の進路就職状況

コロナ禍から完全に脱却し、企業側の採用活動は活発になり、学生に有利な「売り手市場」へ回帰を遂げました。本学学生におきましても好調で 3 月 6 日現在、2023 年度卒業生の就職決定率(カッコ内は昨年同時期)は、

総合社会学科 90.45% (82.1)

臨床心理学科 81.90% (74.7)

こども教育学科 97.78% (92.3) と好調な結果となっております。

とはいえ未だ就職活動を継続している学生もおりますので就職進路課一同しっかり寄り添い希望の進路を叶えることができますよう努力をしております。

今年度も教育後援会の皆様方にご支援いただきました公務員講座・課外講座・就職活動支援事業につきましては、別資料の通り一定の成果が出ているのではないかと考えております。公務員講座を受講した学生の中には、日々のSPI対策など努力した結果、進路先を一般企業に切り替え希望の企業に決定した例が多くみられました。

また特徴的な取り組みとして本学独自で実施しました就職支援事業の様子や地域連携活動の中で企業の皆様方との交流を行い、就職先内定に大きく寄与した活動事例を添付いたしますのでご高覧頂き次年度も引き続き学生たちの就職支援事業の為に支援いただけましたら幸いです。教職員一同がさらなる支援に向けて活動ができますことを祈りつつ感謝の言葉といたします。

就職部長 名塩 匡

## 2. 進路就職イベントの様子

「お仕事研究所」 日程:2023/6/10(土)

会場:サロン・ド・パドマ 参加人数:52 名



「就活スイッチ」 日程:2023/12/16(土)

会場:サロン・ド・パドマ 参加:62 名(短大生 6 名含む)





就活よりも早い段階から学生が自身のキャリアを考える機会、また社会に目を向ける機会として、主に企業や社会福祉法人の採用ご担当者様や卒業生をお招きし、対話や交流を通して今後のアクションにつながるきっかけとなりました。

「KBU 企業研究フェア 2025」 日程:2024/2/9(金)

会場:サロン・ド・パドマ 参加:75名

※登録者ベースで、実際はおよそ 135 名ほどの参加



1年間を通じた就活準備の総決算。就活プログラムとしては最大規模の企業研究フェアを実施しました。3月からの就活本格スタート前の最後の機会として参加学生は皆リクルートスーツを身にまとい、真剣な表情で企業の採用担当者様からの説明を受けていました。

◇大学院入試対策講座および大学院入試対策プログラム参加者の進路先

※2023 年度院試対策直前英語講座

(1)申込者数：20名(4年次生)

(2)大学院合格者数：12名

京都文教大学大学院：11名 鳴門教育大学大学院：1名

(3)民間就職：3名

(4)その他(現時点未定)：4名(次年度受験予定含む)

◇公務員対策講座および公務員プログラム参加者の就職試験合格先 (以下、合格先と人数)

※2022 年度公務員講座上級編(3年次に受講)

申込者数：37名

合格者数：10名(行政職4名、公安職3名、専門職2名、教職1名)

合格先：(1)行政職：野洲市役所、宇治田原町役場、栗東市役所、稚内市役所

(2)公安職：自衛隊一般曹候補生、大阪府警察、京都府警察

(3)専門職：法務省法務教官、法務省刑務官

(4)教職：京都府教育委員会

◇教員採用試験突破講座プログラム参加者の合格者数：36名

※直前講座申込者38名中、のべ合格者数

宇治NEXTでは、3月14日(火)、宇治市産業会館1階の「うじらぼ」にて、宇治商工会議所NEWSで企業紹介の記事作成を行った京都文教大学の学生と宇治商工会議所の会員企業の皆様を対象とした「市内企業(団体)と学生をつなぐ交流会」を開催しました。



第1部は、学生の日頃の活動紹介と取材内容や感想を発表、第2部では「協力企業のPRを考えよう!」と題したワークショップを行いました。企業関係者1名と学生3名のチームを5つ作り、学生はその企業の新入社員という設定で、「製品(サービス)PR」か「求人PR」のどちらかについて一緒に考え、ワーク終了後にはグループ毎に発表を行いました。交流会を通して、学生はその企業の面白さや担当者の人柄を知り、企業の皆様にも今の大学生の声が届いたと思います。

【参加企業のコメント】

●「イマドキの若者」といわれますが、今日出会った学生は、私たちの話を熱心に聞いて、商品PRについて真面目に考えてくれました。大学生のイメージが変わりました。

●取材を担当した学生は「知りたい」という気持ちをすごく持っていました。取材だけで終わらず、次に繋がる交流ができて、良かったです。

●普段はお話する機会の少ない、他業種の方々と学生さんと交流ができて、とても楽しかったです。

●学生さんの発想は面白く、パワーをいただきました。地域の大学と地域の企業、これからも繋がっていきたいです。

●学生との交流は初めてでしたが、「まとめる力」に驚きました。交流会を通し、様々な活動を行う学生を知るきっかけになりました。

【学生参加者のコメント】

●工場など自分とは関わりがなかったと思っていましたが、お話を伺い「将来こんな会社もありかも?」と思いました。自分の視野が広がった良い機会でした。

●距離が近いからこそ普段聞けない話など、楽しくお話しできました。

終了後のアンケートでは、「地元企業を知れた」「企業の方との交流が楽しかった」など、参加したすべての学生が良かった点をあげていました。直接言葉を交わし、同じ時間を共有することで、地元企業と学生との距離を縮めた交流会になりました。

第1部は、学生の日頃の活動紹介と取材内容や感想を発表、第2部では「協力企業のPRを考えよう!」と題したワークショップを行いました。企業関係者1名と学生3名のチームを5つ作り、学生はその企業の新入社員という設定で、「製品(サービス)PR」か「求人PR」のどちらかについて一緒に考え、ワーク終了後にはグループ毎に発表を行いました。交流会を通して、学生はその企業の面白さや担当者の人柄を知り、企業の皆様にも今の大学生の声が届いたと思います。



ワークショップの様子



ワークショップの様子



グループ発表の様子

宇治商工会議所では、学生の地域定着や人材育成、地域活性化を目的として、2019年3月に京都文教大学並びに京都文教短期大学と包括連携協定を締結しました。コラボ企画として、令和3年度から、京都文教大学生による企業や商店街を取材・紹介する記事を掲載しています。

【令和4年度の掲載記事】

- 7月号 タイニースプラウト
- 8月号 (株)WABISUKE
- 9月号 角井食品(株)
- 10月号 (株)堀井七茗園
- 12月号 (株)日双工業
- 2月号 INCENSE KITCHEN
- 3月号 agrismペリファーム宇治

【学生取材チーム】

- ・KASANE0
- ・CanVas
- ・REACH
- ・宇治☆茶レンジャー
- ・学生広報チーム

《京都文教大学ホームページ》

京都文教大学の活動等が紹介されています。



2023.4.1 宇治商工会議所ニュース

宇治支部の取り組み

企業と地域が互いに成長していけるように

例会を行い交流を広げています。学長と教職員の方が支部の会員として共に活動を行っているのが特徴的です。



宇治支部が行っている4つの地域連携事業について、紹介いたします。

1つ目は「宇治市産業戦略会議」。宇治市有識者が集まり宇治市の産業発展のための会議を行っています。宇治市長と各地域を担う代表8名で構成され、同友会を代表し支部長が毎月参加しています。現在は宇治市用途地域変更(工業地域化や新名神開通、子育て支援)などについて議論しています。

2つ目は「宇治商工会議所との連携」です。70周年を迎えた宇治商工会議所が、今後100周年を迎えるにあたり、宇治支部と商工会議所が共に地域の団結や連携を深め合う活動に取り組んでいます。

3つ目は「京都文教大学との連携」です。京都文教大学と宇治支部は、「包括連携協定」を結んでおり、京都文教大学の森学長をはじめ、学生の皆さんとの

4つ目は「市民団体との交流」です。宇治の未来を考える「フューチャーデザイン」では高校と共に連携を図り、大学生と共に例会も開催。行政・経済団体・教育機関・市民団体と連携を深める活動です。

このような取り組みをさらに深めていくことで企業と地域が互いに成長していけるよう今後も積極的に活動を行っていきたく思っています。

文：中井敬翔(宇治支部)

**出席企業**  
やりたい仕事が決まっていなかった方もおりましたが、この説明会に参加したことによって弊社で働きたい意欲ももたらさるかもしれないと感じました。

**出席企業**  
若い人たちが増えていってほしいと、聞くことができ、実現した平日になりました。

**参加学生**  
初めて中小企業のお話を聞いて、すごくイメージが変まりました。地域と近いのが印象に残りました。

**参加学生**  
社長さんと人事担当の方と近い距離でお話しできて、会話を盛り込む時間になりました。

**参加学生**  
来て本当に良かったです。少し話しただけで、要領がわかるんだらうかと思いましたが、とても伝わっていいものがありました。

～選ばれる企業、人が育つ企業を目指して～

## 社長と話せる! 合同企業説明会

2023年3月22日(木)に、京都府京都市にて合同企業説明会を開催しました。この説明会には、京セラの企業説明会に参加し、各中小企業の企業説明会も実施しました。この説明会には、中小企業と学生が直接対話する機会が生まれ、学生は中小企業についてより詳しく知ることができ、企業側は学生の就職意向を把握することができました。

この説明会には、京セラをはじめ、京都府内の中小企業が参加しました。京セラは、学生と直接対話する機会が生まれ、学生は京セラについてより詳しく知ることができ、企業側は学生の就職意向を把握することができました。

参加した学生は、京セラの企業説明会に参加し、京セラの企業文化や仕事内容について詳しく知ることができました。また、京セラの社長と直接対話する機会が生まれ、京セラの社長は、学生と直接対話する機会が生まれ、学生は京セラについてより詳しく知ることができ、企業側は学生の就職意向を把握することができました。

2023.4.1 一般社団法人 京都中小企業家同友会 ニュース

# 子ども食堂 きょうはこの店!

## 伏見で京セラ主導 3商店街20店特製メニュー

商店街の飲食店子ども食堂として活用する取り組み「伏見区子ども京セラ食堂」が、南陽通り沿い三つの商店街で始まった。同区に本を置く京セラが主導し、商店街を学区に持つ伏見稲荷小学校(児童約1000人)に、1日に3回、飲食店で使った食材を寄付。800円ほどの代金は同社が負担し、子どもたちは毎日安定的におなかを満たすことができる。

「こっぴんは」。5月、うに食べたい。20日、商店街の焼肉店に地元小学生が入ると、店からは「いらっしゃいませ」との声が、子ども食堂向けに作ったメニュー「肉じゃが」を、おいしく食べている。家の近くで食べられる場所があるのはありがたいと話した。

京セラは地元への社会貢献のため、当初は本社食堂での開催を想定したが、本社に求められる子ども食堂があることから断念。区役所に相談し、南陽通りをはじめ、伏見大手前、納屋町の計3商店街の賛同が得られたことから、5月末から取り組みをスタートさせた。

一般に子ども食堂は、NPO法人やボランティアが決まった場所に子どもを集め、週1回など定期的に開催するパターンが多い。今回は参加飲食店でO.P.カード付きの会員証を使って、決済できる形にしたため、時間や場所の制約が少なく、様々な事情で食事を取れない子どもも対応できる。京セラが主導し、商店街の飲食店が協力する取り組みは、資金面でも安定的な運営が期待できる。

京セラの担当者は「子どもたちが好きなメニューを、安心して食べられるようにしたい」と話している。肉じゃがを提供した焼肉店の経営者で、南陽通り商店街振興相理事長の森一紀さん(37)は「我が家も共働きで、このように取り組みがあると助かる。子どもたちも喜んで食べている。子ども食堂での利用も可能。今後、協力店の商店街、参加できる小学校の拡大も検討する。」

**伏見区子ども京セラ食堂 参加店**

2023.6.6 読売新聞ニュース

## 2023年度ご報告 「本学学生生活支援について」

「高等教育の修学支援新制度」の現状と今後  
物価高騰対策の支援状況  
課外活動（クラブ・サークル、指月祭、海外留学）報告

2023年度、コロナが感染症5類となり、大学生活を元に戻すのではなく、今、在学する学生のため新たな学生生活支援を作っていくことが使命となった年度でした。学生が笑顔でキャンパスでの大切な時間を育むために、教職員は近年の学生の変化（今までは高校生の年代までに育まれた他者との関係構築が、大学生でも十分ではなくなっている\*）を感じながらも、社会状況をふまえた学生対応に日々精励しております。

\*2/28 開催 学生相談室研修会 講師：大山泰宏氏（放送大学教授）談

学生は学業とアルバイト、課外活動等を限られた時間のなかで配分していますが、スケジュールにあわせた調整ができる学生がいる半面、自分にとって大切な事柄を優先し、学生の本来の目的である学業に時間を費やせない学生がいます。2024年1月実施「学生生活振り返りアンケート」回答では、困りごとがないと答える学生が7割です。しかし、残り3割、困りごと（対人関係・生活習慣・体調）があると回答した学生がおり、その多くは家族・友人に相談し、解決に結びついています。学生課は、解決できない困りごとを抱えた学生に目を向け、従来の学生相談室心理相談員・健康管理センター看護師との連携に加え、キャンパスソーシャルワーカー（精神保健福祉士資格者）・社会移行担当キャリアアドバイザー等の専門職を登用し、窓口相談がしやすくなるよう強化いたしました。

参照）2023年度学生生活振り返りアンケート集計結果

<https://drive.google.com/file/d/1D7g61d6BbAXH8IPrzhBmCt9L4AbVu8ed/view?usp=sharing>

指月祭も復活2年目で来場者数2500名を超えました。指月祭実行委員会は、皆に喜んでもらいたいという目標を達成できたことを通過点とし、次年度の内容の充実に向け自己点検し、よりよい指月祭実施のため始動しています。

学生の主体的活動には、的確な「選択と判断」が必要となります。学生課は今後一層、助言・指導を行い、活動の際、学生が直面する課題を乗り越えるための下支えとなってまいります。また、未だコロナの経済面での影響を被る学生も存在し、教育後援会奨学金制度によりまして、経済困難な学生が就学を継続できましたこと、厚く御礼申し上げます。

以下、学生生活支援報告をまとめました。ぜひご参照ください。

### 高等教育の修学支援新制度について

「高等教育の修学支援新制度」は、

(1) 給付型奨学金の支給 (2) 授業料減免 という2つの支援がセットとなった制度です。

今年度 本学受給学生数 384名(昨年度319名 一昨年度291名) (2024年1月現在)

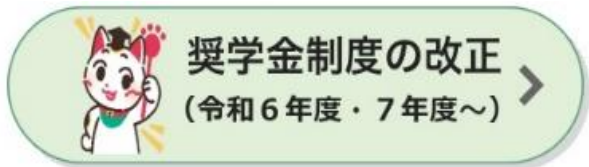
次年度4月の新規申込みが可能です。在学生オリエンテーション開催日である3月26日(火)10時40分から12時10分、ならびに同日昼休み(12時10分から13時)※にて「日本学生支援機構奨学金申込説明会(高等教育の修学支援新制度の説明も含む)」(学生対象)を行います。※2回とも同内容

また、4月3日(水)9時から10時30分まで新入生を対象とした説明会の開催を予定しております。在学生の方も参加可能です。



<https://www.youtube.com/channel/UCeL7elTXT4-yCmiUkqHHHQg>

高等教育の修学支援新制度について動画で紹介しております。



[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/koutou/shougaku\\_kin/main.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shougaku_kin/main.htm)

令和6年度から、多子世帯や理工農系の中間層を対象を拡大します。  
また、令和7年度から、多子世帯について授業料等を無償とします。



<https://www.mext.go.jp/kyufu/student/daigaku.html>

大学、短期大学、高等専門学校（4・5年次及び認定専攻科）及び専門学校の学生等及びその保護者の方に向けたご案内です。

**経済的に困難な学生等が活用可能な支援策（令和6年1月～） ※学生等向け**

授業料や学生生活に係る費用にお悩みの学生等へ

**高等教育の修学支援新制度**  
(年収～380万円程度(両親・子2人世帯の場合))

- **授業料等減免 年額最大約70万円**  
(住民税非課税世帯・私立大学生の場合)  
(別途、入学金も支援)
- **給付型奨学金 年額最大約91万円**  
(住民税非課税世帯・私立大学の自宅外生の場合)

※令和6年度より、多子世帯や私立理工農系の学部等に通う学生等の中間層（世帯年収600万円程度）へ対象を拡大。詳細については、進学先の学校にてお問合せください。  
※令和6年4月から各学校で申込受付開始

**大学等独自の授業料等減免など**  
(「高等教育の修学支援新制度」対象外の世帯)

経済的に困難な学生等に対しては、大学等において**授業料の納付猶予**や大学等独自に**授業料等減免**を行っている場合もありますので、個別に大学等に御相談ください。

**返済不要！**

「高等教育の修学支援」  
公式キャラクター  
・まねこ先生(左)  
・まなびーニャ(右)



具体的な要件  
申請手続きの詳細  
その他支援策はこちら



**日本学生支援機構(JASSO)の貸与型奨学金**  
無利子:年収～800万円程度  
有利子:年収～1,140万円程度(両親・子2人世帯の場合)

- **無利子 月額最大6.4万円(年額76.8万円)の貸与**
- **有利子 月額最大12万円(年額144万円)の貸与**

※令和6年4月から各学校で申込受付開始

返還に際しても、収入が一定額以下の場合、返還を猶予したり、返還月額の減額、自治体や企業が代わって返還する制度など、様々な支援策を整備

**その他支援策**

- 生活に困難な方のその他支援策**
- ◎国の教育ローン **学生1人に最大450万円融資**：日本政策金融公庫
  - ◎生活福祉資金貸付制度（教育支援資金） **最大月6.5万円無利子で貸付**：都道府県社会福祉協議会
  - ◎母子父子寡婦福祉資金貸付金 ※ひとり親家庭のみ：都道府県・政令市・中核市 等

### ○支援対象

住民税非課税世帯およびそれに準ずる世帯の学部生かつ、進路への意識や進学意欲・修学意欲をもつ者（成績条件あり）

### ○支援内容

給付型奨学金および授業料等減免がセットで支援されます。

日本学生支援機構からの給付型奨学金（大学、短大とも）

自宅通学 最大約46万円／年

自宅外通学 最大約91万円／年

が支給されます。

併せて、授業料(大学最大70万円／年、入学金減免(本学 最大15万円／1回)が減免されます。

ただし、入学金に関しては2024年度入学生が対象となります。

### ○支援区分と家計基準

住民税非課税世帯を第Ⅰ区分(満額支援)として、収入等の条件によりその2/3を第Ⅱ区分、1/3を第Ⅲ区分と分けられます。支援区分は世帯構成や年収などにより異なります。

※2024年度に新たに制度改正があり、区分外の多子世帯(兄弟姉妹の人数3人以上)の学生で世帯年収600万円を対象とする「第4区分」が設けられました。

### ○制度の詳細について

文部科学省特設サイト 「高等教育の修学支援新制度」 <http://www.mext.go.jp/kyufu/index.htm>

### ○家計基準について

日本学生支援機構(JASSO)のサイトから、支給額等が試算できるシミュレーションのツールを利用できます。本制度の対象となるかどうかの目安が確認できます。

「JASSO 進学資金シミュレーター」 <https://shogakukin-imulator.jasso.go.jp>

## 物価高騰への対策支援について

### ○ 日本学生支援機構 物価高に対する経済対策支援事業

全学生に2023年春学期中にQUOカード(500円)を配付いたしました。受け取りに來られなかった学生のカードは日本学生支援機構の許可を得、おにぎりとパンの配付に代替し、多くの学生へ食生活支援として還元いたしました。

お問い合わせ先 京都文教大学学生課 [student@po.kbu.ac.jp](mailto:student@po.kbu.ac.jp)



# 学生生活について

## 2023年度 KBU キャンパスイベント活動報告

日程	イベント名	活動報告
9月18日(月) 19日(火)	還愚(げんぐ)セミナー 高野山内の遍路、 奈良県當麻寺、 木津川市浄瑠璃寺  学生4名教職員3名合計7名が参加。	 <p>初日は高野山内を遍路し、壇上伽藍・奥之院などを訪れました。また宿坊での阿字観(瞑想)体験、イーサポ所属の参加学生によるワークショップ企画「ここで災害がおきたらどうする?」を行いました。2日目は早朝より生身供(しょうじんぐ)見学し、弘法大師御廟で勤行参加の後、法然上人二十五霊場の奈良県當麻寺を参拝し、曼荼羅絵解き・写仏を体験しました。最後に京都府木津川市の浄瑠璃寺を訪れ、宇治キャンパスに帰着。盛りだくさんの内容でしたが日常生活から少し離れ、自分を見つける機会となりました。</p>
10月11日(水)	秋学期 環境整備・ 衛生委員活動	今年度はキャンパス環境整備として、学生各々、自分が携わりたい環境整備を提案し、消毒にプラスして教室座席整頓、落ち葉清掃、鯉の餌やりなどを組み入れた活動を行いました。
10月~1月 全7回	ランチョンミニセミナーの開催	  <p>「気軽にゆるっと。知って得する専門家のお話」を30分1回完結で開催していきます。初回は「大学生が被害に遭いやすいお金のトラブル」(SMBC 金融経済教育グループより講師招聘)でした。</p> <p>若者が被害に遭いやすい金融トラブルから特に「名義貸し」(親にもカードは貸してはいけない!)[アルバイト詐欺](足を踏み入れるとやめられないように脅される。共同正犯で責任を負う。)など、動画視聴のうえ、講師による具体的な説明を受け、学生たちはランチをとりながらも聞き入っていました。秋学期、バラエティに富んだ講師によるセミナーとなりました。</p>
10月28日(土)	国際交流 ミニバスツアー 三重県 伊賀上野公園	<p>国際交流委員会主催のイベント「ミニバスの旅」を約3年ぶりに開催。向島学生センターに住む留学生と本学学生との交流を図ることを目的としています。</p>  <p>今年は留学生8名・本学学生7名の計15名が参加しました。グループで公園内を散策し、伊賀流忍者博物館へ。留学生と本学学生が連絡先を交換する様子も見られ、交流の連鎖が起きることを期待しています。</p>

日程	イベント名	備考
11月11日(土) 12日(日)	指月祭 テーマ GROW UP	 <p>来場者は2日間で2500名を超えました。実行委員、模擬店出店者、ステージ発表者(大学生、教員有志、地域のご家族、文教中高生)、たくさんの来場者が盛り上げ、楽しんでいただきました。皆さんの生き活きとした表情・笑顔が学内を明るく彩り、活気に満ちた指月祭となりました。</p>
11月下旬	謎解きイベント THE BOMB ゲーム ～爆弾の数だけ謎がある～  主催 中央執行委員会	<p>パドマに集合した参加者は学内に爆弾を仕掛けたという首謀者の爆破予告メッセージを見て、爆発阻止のため謎を解きます(ゴール順に豪華賞品GET)。大学全体を舞台に、教室や施設に問題が設置され、4人1チームで議論しながらの謎解きは遊びの要素だけでなく意見を戦わせる要素もありました。最後には首謀者逮捕の寸劇もあり、よく練られたイベントでした。</p> 
2月中旬 ～3月中旬	カナダ語学研修 マギル大学& トンプソン・リバーズ大学	  <p>春の休暇を利用して、カナダへ3名の学生が渡航しました。トンプソン・リバーズ大学(協定校)3名、マギル大学(協力校)1名は国際交流委員会での面接を経て、2回の事前学習に参加。渡航の心構えを、語学力の向上とカナダの生活、文化を学びます。経験を通して知識を身に付け、3月中旬に帰国します。</p>
3月26日(火)	古川登志夫さん 特別講演会 於 同唱館 主催 学生自治会中央執行委員会	<p>アニメ声優として大活躍されている古川登志夫さんをお招きし、テーマ『好きを得意に、夢を掴め!!Catch The Dream!!』と題し、講演会を開催いたします。</p> <p>【代表作】 「ONEPIECE」のポートガス・D・エース 「ドラゴンボール」のピッコロ 「ゲゲゲの鬼太郎」のねずみ男 「うる星やつら」の諸星あたる 「鬼滅の刃 刀鍛冶の里編」の半天狗 「鬼太郎誕生ゲゲゲの謎」の謎の男 多数</p> <p>●この講演会での利益はすべて令和6年能登半島地震義援金として日本赤十字社へ寄付いたします。</p>

## その他

- 男子軟式野球部 第26回全日本大会軟式国際親善大会(TAIWAN) 代表選手1名を派遣(キャプテン)
- 女子硬式野球部 関西女子硬式野球大会出場  
関西女子硬式野球選手権大会ラッキートーナメント大会出場  
第9回全日本大学女子硬式野球選手権出場  
第13回全日本大学女子硬式野球選手権大会出場
- 吹奏楽部 12月定期演奏会(ともいきフェスティバルと同日開催)
- 軽音楽部内の学内ライブ(サロンドパドマ、同唱館)
- 京都府赤十字血液センターによる学内献血
- リーダー交流会(2回目/2月開催)

京都文教大学交換留学制度のほか、学生は課外活動としても海外語学研修に参加できます。国際交流オフィスでは、「いつもと違う環境で、新たな自分に出会えるかも!」をキャッチフレーズに夏期・春期休暇などを利用した海外語学研修（短期留学）プログラムを設けています。コロナ禍を経て、全国の大学で留学希望者が増加しています。本学国際交流オフィスにも近年、留学希望相談者が多く訪れるようになりました。今年度の相談者34名（窓口相談）、説明会参加18名（トンプソン・リバーズ大学10名、韓国交換留学8名）のうち実際に半年、1年留学を実施した学生も数名いますが、最も人気が高い研修は今年度から研修内容が刷新された「韓国湖西大学校のサマープログラム」です。大学と短期大学あわせ二桁の参加者数となりました。参加者は研修レポートや写真を国際交流オフィスに提供しており、本人了承のもと本学留学支援ホームページに掲載しています。留学体験の魅力が満載された頁を、ぜひご覧ください。

[ プログラム内容 ] 語学学習や文化体験

[ 研 修 先 ] 海外留学協定校 \*2024年予定

- カナダ トンプソン・リバーズ大学（ホームステイあり）（夏 8月：20日間／春 2～3月：22日間）
- カナダ マギル大学（夏：学生寮／春：ホームステイ）（夏 8月：20日間／春 2～3月：30日間）
- 韓国 湖西大学校（ホームステイなし。寄宿舎に宿泊）（夏 8月：13日間）



韓国・湖西大学校

2023年度



- ・ 留学期間：4年次 夏期
- ・ 所属学科：臨床心理学科

体験記を読む



- ・ 留学期間：4年次 夏期
- ・ 所属学科：子ども教育学科

体験記を読む



- ・ 留学期間：3年次 夏期
- ・ 所属学科：臨床心理学科

体験記を読む



カナダ・マギル大学

2023年度



- ・ 留学期間：3年次 夏期
- ・ 所属学科：総合社会学科

体験記を読む



- ・ 留学期間：3年次 夏期
- ・ 所属学科：総合社会学科

体験記を読む

2023年度

総勢 13名の学生が海外での語学研修にチャレンジしました。約3週間、ホームステイあるいは寄宿舎で暮らし、滞在先の衣食住文化を体験し、歴史に触れ、語学力を磨きました。

## ◆ 短期留学



カナダ・トンプソンリバーズ大学

2023年度



- 留学期間：4年次夏期
- 所属学科：総合社会学科

体験記を読む



- 留学期間：4年次夏期
- 所属学科：総合社会学科

体験記を読む



- 留学期間：2年次夏期
- 所属学科：工芸学部

体験記を読む

### 体験記を読もう

学生が海外生活のなかで撮影した動画もご確認いただけます。↓

[留学体験記](#) | [海外留学・海外研修](#) | [国際交流](#) | [キャンパスライフ](#) | [京都文教大学 \(kbu.ac.jp\)](http://kbu.ac.jp)

## 図書館だより

宇治キャンパス内には、図書館が3館（普照館・至道館・常照館）あり、約35万冊の図書資料（図書、雑誌、視聴覚資料等）を所蔵しております。

後援会のご支援により購入した図書資料コーナーもあり、在学生のみならず、保護者の皆様も館内利用や図書資料の貸出利用が可能です。登録料は無料で、最大3冊・2週間の貸し出しができます。

図書館利用証の申込書は、本学図書館ホームページからダウンロードして頂けます。

図書館利用案内ほか、本学図書館所蔵の図書資料の検索、開館スケジュール等図書館情報についても、図書館ホームページをご覧ください。

保護者の皆様のご登録、ご利用をお待ちしております。

図書館長 遠藤 央

図書館利用証のお申し込み、その他詳細は本学図書館ホームページをご覧ください。

図書館ホームページ <https://opac.library.kbu.ac.jp/drupal/>

## フィールドリサーチオフィス より

# 京都文教大学 地域連携学生プロジェクト 2023 の活動報告

京都文教大学では、地域を対象とする学生の自主的活動の中から、地域特性を活かしつつ、成果が期待できる取組みを「地域連携学生プロジェクト」として選定し、支援、助成しています(2007年度～2023年度採択プロジェクト数:延べ107団体)。

本学では、地域に根ざし、地域に学び、地域への貢献を目指す本学の教育研究目標を達成するために、まちづくりや地域おこしなどへの学部、学科を超えた主体的な取組や、実習や演習などの延長にあり、大学での学びを発展的に展開するような取組、地域の住民・行政機関・地元企業・団体等との連携、協働で展開する取組を「地域連携学生プロジェクト」として採択し、学びと地域貢献を両立させる場として本活動を推進しています。

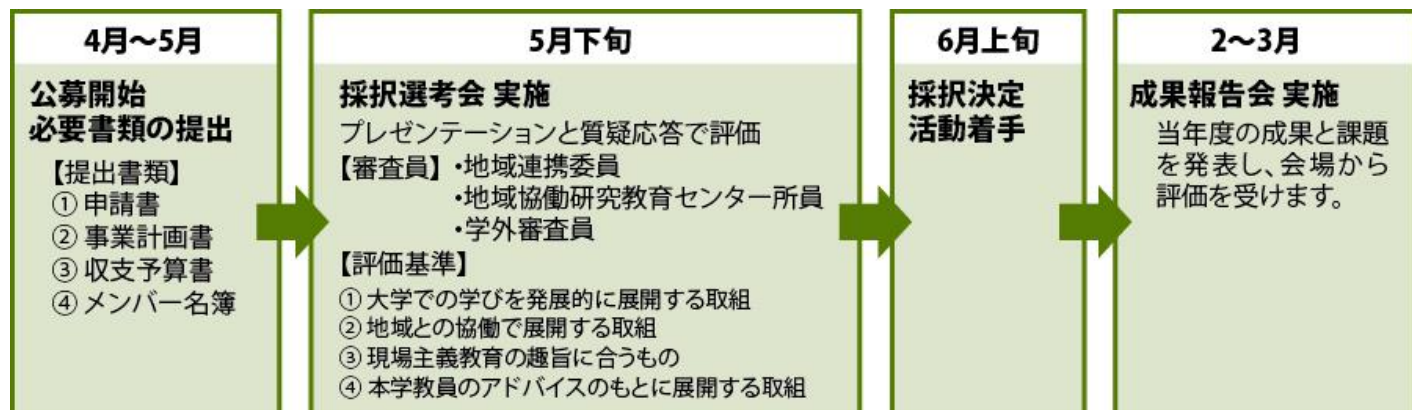
2023年度も、4月から学内にて申請を募り、その後6月に採択選考会を実施しました。審査は、京都文教大学地域協働研究教育センター員と地域連携委員の教員、学外審査員が担当し、採択の可否を決定します。

採択された団体は、1年間活動に取組み、年度末に実施する成果報告会での発表と事業報告書を提出いたします。

2023年度は以下の6団体が採択され、活動に取組みました。地域の皆様のご協力をはじめ、教育後援会様の多大なご協力のもと、活動に励み、実りある1年になりましたこと、厚く御礼申し上げます。

### 【2023年度 採択団体】

	プロジェクト名	新規/継続	事業実施地	アドバイザー教員
1	宇治☆茶レンジャー	継続 (2010年度～)	京都府内 宇治市	森 正美(総合社会学部総合社会学科教授)
2	商店街活性化隊 しあわせ工房 CanVas	継続 (2014年度～)	宇治市	片山明久(総合社会学部総合社会学科教授)
3	KASANEO	継続 (2018年度～)	宇治市	黒宮一太(総合社会学部総合社会学科准教授)
4	REACH	継続 (2019年度～)	京都市伏見区 京田辺市	松田美枝(臨床心理学部臨床心理学科准教授)
5	KminK	継続 (2022年度～)	久御山町	黒宮一太(総合社会学部総合社会学科准教授)
6	lemon tree	新規	宇治市	平尾和之(臨床心理学部臨床心理学科教授)



# 【活動 Pick UP !】

## 1. 宇治☆茶レンジャー

急須でゆっくりお茶を楽しむ時間が減ってきている一方、宇治茶は、文化的価値や生産、製造の風景・景観の美しさについての評価が高まっています。また宇治市立小学校での「宇治学」の取組みの中で宇治茶を学ぶ地域学習の広がりや、海外での日本茶ブームなど、宇治茶を取り巻く環境は変化し続けています。本プロジェクトは、学生目線で見つけた「宇治茶」の魅力を幅広い世代に分かりやすく伝え、新たな宇治茶の魅力を創出し、宇治茶文化の振興と継承を目指し、活動に取組みました。

### 【宇治茶スタンプラリー】

お茶屋さんや宇治茶にまつわる施設等を巡りながら、楽しみながら宇治茶を学んでもらうイベントです。2月10日～25日までの約3週間実施しました。中宇治エリアにあるお茶屋さんやお茶に関する施設20ヶ所がスタンプポイントとなっており、その内7カ所では宇治茶や地域に関するクイズも出題し、楽しみながら学べるイベントとなっています。今回初めて期間中にお茶の淹れ方ワークショップなどのイベントも実施し、より宇治茶に親しむ機会を提供しました。

### 【茶香服体験ワークショップ】

宇治☆茶レンジャーでは、これまでも急須で美味しくお茶を淹れるコツを伝えるワークショップを数多く実施してきましたが、今年度は、ワークショップに加え、茶香服の進行を身に付け、簡易版の実施できるようになりました。8月には近隣の子どもの園のサマースクール、12月には本学で開催した「ともいきフェスティバル」、また2月には「宇治茶スタンプラリー」の特別イベントとして実施しました。



「宇治茶スタンプラリー」



「茶香服体験」

## 2. 商店街活性化隊しあわせ工房 CanVas

宇治橋通商店街振興組合のご協力のもと、宇治橋通り商店街の活性化活動に取り組んでいます。CanVasは、宇治橋通り商店街が主催するイベントへの参画や、独自イベントの開催を通して、「また来たいと思える“笑”店街づくり」を目指しています。今年1月よりNHKの大河ドラマで、紫式部を主人公にした「光る君へ」の放送が始まり、宇治市では紫式部ゆかりのまちとしての観光政策を進んでおり、CanVasも源氏物語をテーマにした新しい取り組みを始めています。

### 【写真展「宇治ふおと！」】

今年で3回目となる市民参加型の写真展です。宇治市秘書広報課と連携し、「君の光（ピカ）イチものがたり」というテーマのもと、市民を中心とした一般の方から写真を公募しました。市内の小中学校へのチラシ配布や本学で学ぶ宇治市高齢者アカデミー生との撮影会の実施などにより、昨年よりも30点余り多い、約100点の作品を集めることができ、2024年2月3日～24日まで、宇治橋通り商店街の協力店舗（12店舗）に展示しました。また、定休日のお店が多い日曜日の来館者対策として、期間中の日曜日には、宇治橋通集会所に、展覧作品をまとめたポスターを展示する「一括展示」を行いました。出展者の方が作品を見にお店を訪れるケースも多々あり、宇治橋通り商店街の個店舗を知ってもらうための活動として一定の成果が上がったと感じています。



「宇治ふおと！」

### 【まちあるきイベント ロゲイニング】

エリア内の地図と写真をもとに、その現場を探し出し見つけた場所の多さで得点を競う「ロゲイニング」の手法を使ったまちあるきイベントを実施しています。

今年度は初めて、京都文教大学の校友会とタッグを組み、校友会の余暇企画としてロゲイニングを実施しました。参加者からは学生時代、なかなか訪れることが無かった中宇治を散策できて良かった、学生との交流が楽しかったなどの声をいただきました。

また、CanVas では、次年度の本格実施を目指し、源氏物語をテーマにしたロゲイニング「歩む君へ」を新たに作成しました。宇治市の観光課や観光協会と連携して進めており、源氏物語ミュージアムの中に答えがあるクイズや、和歌を詠むミッションなどの、源氏物語のまちを楽しめる工夫が盛り込まれています。



「校友会とのまちブラ ロゲイニング」

## 3. KASANEO

「ファッション」を通じて幅広い世代が交流できる場を提供することを目的に、結成されたプロジェクトです。着なくなった服（若い頃に着ていた服）を「思い出」と共に、高齢者から提供いただき、それに学生が今の感覚で着こなしを考え、ファッションショーや展示会、雑誌などで紹介していきます。

服を「物」としてだけでなく持ち主の「思い出」という付加価値を付け発信することで、人とひとを繋ぐ媒介物となり、超高齢社会といわれる今、世代を越えた地域コミュニティの形成に繋がると考えています。

### 【KASANEO FES】

これまで大学を会場に開催していた主催イベントですが、今年度は、中宇治にあるコミュニティスペース「中宇治BASE」を会場に、提供いただいた衣服の展示とフリーマーケット、カフェコーナーを設け、来場者との交流を目的に実施しました。関係者が中心だったこれまでと異なり、観光客や通りがかりの方など、これまでKASANEOを知らない層にも活動の発信ができました。カフェコーナーは、宇治市高齢者アカデミーの卒業生有志による「ともいきカフェ遊々」に協力いただき、学生と高齢者とが一緒に会場運営を行うことで、多世代交流の場を作りました。



「KASANEO FES」

### 【高齢者サロンとの交流】

大学の近くにある北槇グリーンタウンで行われている高齢者サロン「北槇ハーモニー」との連携を進めています。6月に近くの企業主催で行われたマルシェでは、ハーモニーに集う高齢者と学生がペアになり、思い出のある衣服を紹介するファッションショーを行いました。

KASANEO FES でも、ハーモニーメンバーから提供いただいた衣服と思い出を紹介するコーナーをつくり、2024年2月には、たいだい染めのワークショップを行うなど、定期的な行き来を通して交流を深めています。

KASANEO の取り組みについては、11月にNHK京都「京いちにち」の宇治特集の中でも紹介されました。



「北槇ハーモニーとの交流」

## 4. REACH

「当事者」をキーワードに、様々な人々のあいだの「見えない壁（障壁）」を、交流や体験・対話などを通して、少しずつ取り払うことをひとつの目標とし、多様な人々が、共に生き・共に幸せを感じられる社会（＝「ともいき社会」）のあり方を、薬物依存症回復支援施設「特定非営利活動法人京都 DARC」や就労継続支援B型事業所「三休」など、様々な団体と交流しながら、地域の皆さんと一緒に考えることを目指しています。

### 【近隣福祉施設との交流】

大学の近くにある障がい者施設「ぐんぐんハウス」や「イマジン」のメンバーを大学に招き、キャンパスツアーや学食体験を行いました。これまでも学生が施設を訪れ、交流を深めていましたが、大学に招くことで、メンバーさんに日常と異なる体験を楽しんでもらうことと、学内に向けての活動発信の目的でおこないました。その中では、宇治☆茶レンジャーに依頼し、急須でお茶を淹れる体験ワークも取り入れるなど、プロジェクトを超えた交流も進めました。



「ともいき (共生) フェスティバル」



「福祉施設の大学見学」

### 【福祉施設と協働でのワークショップ】

学内外のイベントに参加し、「薬物依存症回復施設 京都ダルク」のメンバーさんと一緒に、葉づくりや香り袋、バスボムづくりのワークショップを多数企画しました。バスボムや香り袋に使うハーブや和紙は、連携先の事業所や福祉施設の授産商品を使い、ワークショップを通して施設の存在や取組を発信する活動も行いました。

## 5. KminK

「久御山町とリンクする」という思いを込め「KminK」と名付けました。久御山町役場で自治会・町内会を担当する企画財政課に地域のパートナーを務めてもらっており、定期的なミーティングを行っています。ミーティングでは、役場に寄せられる、自治会や町内会から様々な課題や困りごとが共有され、学生が協力できるものについては、役場や地域の人たちと一緒にその解決にあたっています。今年度は3つの自治会・町内会と関わり、人手不足が課題となっている自治会において、地域の一員として、イベントの運営補助や作業のデジタル化推進に携わり、秋には初となるKminK主催のイベントも実施しました。



「東島田町内会との協議」

### 【自治会・町内会との連携事業】

栄1・2丁目自治会とは、自治会主催イベントのマルシェに向けての協議に参加し、事前準備から当日の運営補助に至るまで一緒にイベントを作りました。また、東島田町内会からは、入会案内のチラシ作成の依頼を受け、町内会の大切さをアピールできるよう、防災に焦点を当てたチラシ作りに取り組みました。KminKが作成したチラシは、今年4月より近隣住民の皆さんに配布予定です。

### 【くみやまスマイルフェスティバル】

昨年度、久御山町主催による久御山中央公園の活性化を考えるワークショップに参加したことがきっかけとなり、その公園を使い、幅広い世代の方が交流できるイベントを主催したいとの思いが高まりました。イベントでお世話になっている久御山町のまちづくり団体KUMIDAN、以前より相互連携を進めている京都府立久御山高校の協力を経て、10月に「くみやまスマイルフェスティバル」と題した催しを実施しました。キッチンカーや飲食店ブース、ワークショップコーナーやステージ発表など、当日はあいにくのお天気でしたが、心あたたまるときのときを彩ることができました。



「西協知事との行き活きトーク」



また、久御山町との連携した活動については、京都府にも注目され、11月にあったイベント「くみやままちのがっこう」にて開かれた「西脇京都府知事との行き活きトーク」に、KminKメンバーも参加し、活動を始めた経緯や、久御山町と関わるなかで改めて感じた地域の繋がりについてお話させていただきました。

## 6. Lemon tree

「宇治市認知症アクションアライアンス：れもねいど」に関わってきた学生たちが、今年度新たに立ち上げたプロジェクトです。れもねいどの活動には、認知症当事者、家族、この取り組みを応援する地元企業・団体が関わっており、そこに学生が加わることで、世代を超えたこれからの「認知症と生きる社会」の一例を示していくことを目的としています。この活動をより多くの人に認知してもらい、その輪を広げるために学生ならではの強みを活かし、同世代を中心に情報発信などに努めています。



「当事者や家族の方とのお茶摘み」

### 【グループミーティングへの参加】

定期的に行われる認知症当事者とのグループミーティングへ参加し、当事者や家族との対話やグループワークを進めています。また、5月には、れもねいどの活動に携わるお茶農家 渡辺製茶を訪れ、当事者や家族の方と一緒にお茶摘みを行いました。これらの活動を通して、交流を深めています。



「クリスマスオーナメントづくり」

### 【ともいき（共生）フェスティバルでのワークショップ】

12月に本学にて開催した「ともいき（共生）フェスティバル」では、京都認知症総合センター・作業工房ほうおうの協力を得て、端材やハギレを使ったレモン型のクリスマスオーナメントづくりのワークショップコーナーを設け、地域の子どもたちと認知症当事者、学生と一緒に楽しみました。

## 高大連携・接続

本学では、さまざまな高校と連携をし、高校生と大学生と一緒に学び合うことで、相互の気づきや成長を促す機会を設けています。また高校と大学が「今後の社会を担う人材とはどういったものか」「よりよい教育とは何か」を一緒に考え、実践することで高校教育と大学教育の「接続」も進めています。

特に、高校の進路学習や「総合的な探究の時間」などの実践的な学びにおいて、連携を進めています。具体的な取組については、右記の本学特設サイトにて発信しておりますので、是非ご覧ください。



【高大連携・高大接続特設サイト】

## 企業・行政等の連携

宇治市、京都府山城広域振興局、久御山町、精華町、宇治商工会議所、城陽商工会議所、久御山町商工会、城陽市、京都市伏見区、一般社団法人京都中小企業家同友会と包括連携協定を締結しています。また、本学独自の地元企業、事業所、行政、経済団体等とのネットワーク「京都文教ともいきパートナーズ」には、82事業所（2023年9月現在）の登録があります。

まちづくり活動や地域における調査・研究、人材育成、産業振興、子育て支援、生涯学習の推進等、さまざまな分野において連携し、共に「ともいき（共生）キャンパス」の創造に取り組んでいます。

## 各附置機関 紹介

京都文教大学心理臨床センター は地域に根ざした市民サービスを提供する場として開設された心理相談・研究機関です。また本学の臨床心理学部・臨床心理学研究科の学内実習機関も兼ねており、教員や現場の専門家の指導・アドバイスを受けながら先輩の大学院生がカウンセリングに日々奮闘しております。

京都文教大学地域協働研究教育センターは「地域における本学の教育、研究、社会貢献を一体化し、地域・学生・教職員を巻き込んだ総合的な取組を推進し、その成果を本学の教育活動や地域の発展に還元、寄与することを目的として2014年4月1日「地域協働研究教育センター」が設立され、教育・研究・社会貢献活動に取り組んでおります。

産業メンタルヘルス研究所 は、産業メンタルヘルスに臨床心理学の知見を活かすための研究所として、2008年に設立されました。職場のメンタルヘルスに関する調査・研究、プログラムの開発・提供、大学院教育の中で高度専門職業人の育成に取り組んでいます。また、各種講座の開講を通して、臨床心理士・公認心理師をはじめとする産業メンタルヘルス分野の専門職が、職種の違いを越えて研鑽する機会を提供すると同時に、いきいき働く職場をつくるヒントを産業メンタルヘルスの見地から提案する公開講座を企業・行政の人事・総務担当者、経営者向けに開講しています。

## 公開講座やイベント等の案内

京都文教大学では学部特性を活かした公開講座をはじめ、京都文教大学教員と自治体職員、団体・企業、地域住民が研究員として参画し地域課題解決に取り組む地域志向研究による公開講座（ともいき講座）や宇治茶の世界文化遺産登録に向けて京都府と共催する「宇治茶文化講座」、他にも本学学生団体によるイベント情報に関するご案内や、教員の講師派遣依頼について、京都文教大学地域協働研究教育センターHP（QRコード参照）にて掲載していますので、是非ご覧ください。

### 【公開講座・イベント・講師派遣に関するお問い合わせ先】

京都文教大学・短期大学社会連携部

フィールドリサーチオフィス

電話：0774-25-2630 / メール：fro@po.kbu.ac.jp



【京都文教大学地域協働研究教育センターHP】

## 事務局お問い合わせ先一覧

受付：平日 9:00-17:00 まで

部署名	TEL	部署名	TEL
総務課 教育後援会、ファミリー制度、 校友会（同窓会）について など	0774-25-2400	入試広報課 受験の相談、入試イベント オープンキャンパス等）に関すること	0774-25-2488
教務課 授業に関すること 履修登録・時間割・試験・成績・証明書など	0774-25-2426	フィールドリサーチオフィス 地域連携・公開講座、高大連携に関すること 宇治市高齢者アカデミー等について	0774-25-2630
学生課 学生生活に関すること 課外活動・奨学金・休退学・施設物品借用・ 学生相談・障がい学生支援・留学	0774-25-2497	図書館事務室 図書館利用、資料・蔵書について	0774-25-2489
就職進路課 進路に関すること 就職活動、資格・講座など	0774-25-2524	研究支援オフィス 教員研究支援について	0774-25-2494

## 教務課より

### 成績発表のお知らせ

本学では、Web ポータルサイト「UNIVERSAL PASSPORT(ユニバーサルパスポート、通称:ユニバ)」にて成績及び学期期間中の個人時間割をパソコンやスマートフォンからいつでも確認することができます。さらに大学からのイベントや講演会等の各種お知らせ機能も追加され、メールでお知らせを受け取ることもできます。ユニバへのアクセスにはログイン ID・パスワードが必要になります。ID・パスワードは、入学年度5月頃に本学よりお送りいたしましたハガキに掲載しております。

#### 〈成績・時間割確認方法〉

- ① 保護者向けサイト URL [goo.gl/C7H7Sm](http://goo.gl/C7H7Sm) または右 QR コードよりアクセスしてください。
- ② 保護者向けサイトの「成績・時間割確認の方法」よりユニバにアクセス、ログインいただけます。
- ③ メールのお知らせ機能は、ユニバへログイン後、右上の [setting] をクリック、左上の [メール設定] をクリックし、受信メールアドレスを入力してください。



保護者向けサイト QR コード

※成績発表後にいくつかの正当な理由(再試験結果の反映、休学による成績削除など)によって発表された成績が変更される場合があることをご承知おきください。

※スマートフォンの場合は、「スマートフォンはこちら」をクリックせず、ID・パスワードを入力してログインしてください。

※パソコン・スマートフォン等のインターネット接続環境をお持ちでない方はご相談ください。

個別で郵送させていただきます。ただし、学期ごとの申し出となります。

春学期成績発表・・・8月下旬 秋学期成績発表・・・3月上旬

ご不明な点がある場合は、大学教務課までご連絡ください。

<お問い合わせ先>

京都文教大学 教務部 大学教務課 電話：0774-25-2426/E-mail：educat@po.kbu.ac.jp

## —— 教育改善の取り組みについて ——

前回のニューズレターでは、教務課が所管する教育改善の取り組みの1つとして「学生による授業アンケート」のご紹介をさせていただきましたが、今回はまた別の取り組みである「SA 制度」についてご紹介させていただこうと思います。

SA とは「スチューデント・アシスタント」のことで、2年次以上の学生が自分より低学年の授業にアシスタントとして参加し、授業補助を行うものです。主に演習や実習形式の授業を対象としていますので、単に出欠確認や資料の配布・回収等を行うような補助業務だけでなく、授業内で行われるディスカッションやグループワークの進行補助(ファシリテーション)であったり、本学の特色の1つである地域での活動を伴う学外授業の補助であったりと、多様な関わり方をしてもらっています。また、大規模な講義形式の授業についても一部の科目では SA に関わってもらっており、教員と SA との掛け合いで授業を進めるなど、単調な講義にならないような工夫をしたりもしています。

SA の存在により、授業運営が円滑に進められ、受講生の学習効果が高まるのはもちろんのことですが、この制度のもう1つの目的は SA 自身の成長です。SA に応募してくれた学生には、まず学期開始時に教務課職員によるガイダンスや先輩 SA にも手伝ってもらってファシリテーション等の研修を受けてもらっています。(この先輩 SA のことを本学では SSA=シニア・スチューデント・アシスタントと呼んでいます。)研修を受けた学生は、学期中は授業担当教員の指導や助言を受けながら SA 業務を担当し、学期終了時にはしっかりと振り返りも行います。SA を経験した学生の振り返りアンケートからは、コミュニケーション力や責任感が身についたなど様々な成長や気づきがあったことが見てとれます。

今年度は、春学期・秋学期とも、それぞれ約 30 名の学生が SA として協力してくれましたが、じつは最初の募集だけでは定員に満たず、再募集の案内をしたり、個別に協力をお願いしたりすることもよくあります。上にも述べましたように、SA の活動は本人自身の成長にもつながりますし、そのうえ所定の報酬も出ますので、一石二鳥です。関心のある学生にはぜひ積極的に応募してほしいと思っていますので、保護者の皆様からお子様にお声かけいただくなど後押しをしていただくと非常にありがたく存じます。

以上、今回は SA 制度についてご紹介させていただきました。今後とも引き続き本学の教育活動にご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。今後とも引き続き本学の教育活動にご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

教務部長 河本 直樹

# 京都文教大学 INFORMATION



## 京都文教大学の地域連携や講座の情報

京都文教大学ホームページよりご確認ください。是非ご覧ください。

- 京都文教大学ホームページ <https://www.kbu.ac.jp/kbu/>  
→ 地域連携&イベント
- 京都文教大学ホームページ <https://www.kbu.ac.jp/kbu/>  
→ KBU掲載記事一覧：2023 大学公開リスト
- 京都文教大学地域協働研究教育センターホームページ  
<https://www.kbu.ac.jp/kbu/tomoiki-center/index.html>



## 保護者の皆様からの声を受け付ける 専用メールアドレス

京都文教大学では、保護者会の皆様からの声を受け付ける  
専用のメールアドレスがございます。

[hogoshanokoe@po.kbu.ac.jp](mailto:hogoshanokoe@po.kbu.ac.jp)

※匿名でのお問い合わせでは対応ができないことがあります。  
※お子様の学部・学科・学年・氏名を記載の上、お問い合わせください。



## 「京都文教大学【公式】X（エックス）」（旧 Twitter） ぜひご覧ください！！

昨年度、#京都文教大学 の公式 X（エックス・旧 Twitter）アカウントを開設しました。  
本アカウントでは、授業・ゼミ・実習の様子や課外活動、イベントなど、京都文教大学の最新情報  
をお届けしております。

ぜひ、本学での学びの様子をご覧ください。みなさまのフォローをお待ちしております。

【アカウント名】 京都文教大学【公式】

【ユーザー名】 @KyotoBunkyoU\_PR

URL： [https://twitter.com/KyotoBunkyoU\\_PR](https://twitter.com/KyotoBunkyoU_PR)

昨年度は、他大学ゼミとの合同発表会の様子・  
実習授業における現地研修の様子など  
配りました！



## ファミリー制度について



京都文教学園では、本学園で学ばれたみなさまと結ばれた『縁』を大切に、さらにその『縁』をつなぎ広めていきたい  
と願い、ファミリー制度を設けています。従来、中学校・高等学校入学生を対象としておりましたが、2023 年度（令和 5  
年度）の入学生より、大学と短期大学にも本制度を広げております。制度の内容等は以下のとおりです。

2024 年度（令和 6 年度）入学試験の受験を考えておられる方で、以下に該当する方がおられましたら是非ご検討く  
ださい。

制度の内容	以下に該当する入学生に対し、入学金のうち 30,000 円を減免します。 本学園の建学の精神に深く賛同する者で、次の(1)~(2)いずれかの条件を満たす者。 (1) 3 親等以内に本学園設置校の卒業（園）生がいること。 ※ 3 親等の範囲 - 入学生の父母・兄弟姉妹・祖父母・曾祖父母・伯父伯 母・叔父叔母 (2) 兄弟姉妹が本学園設置校（園）に在籍していること。
制度対象校	京都文教大学大学院・京都文教大学・京都文教短期大学・京都文教高等学校・京都文 教中学校
申込方法	校種により適用条件・手続き方法が異なります。お手数ですが当該校にお問い合わせください。
問い合わせ窓口	京都文教大学 総務部 総務課 電話 0774-25-2400

